

# Shinto News

2024.4

第65号



## 新年度を迎えて

理事長 藤山 重俊

春暖の候 皆様におかれましてはますますご清栄のこととお慶び申し上げます。  
平素は大変お世話になっており、誠に有難うございます。厚く御礼申し上げます。

新型コロナウイルス感染症発生から早4年が過ぎ、昨年5月から感染症法における位置づけが5類に移行して大きな節目を迎え、社会経済活動は次第に「平時」に戻ってきました。当院でも2021年1月からコロナ専用病棟に振り替えて運用してきた「地域包括ケア病棟」30床を昨年5月から復活させて運用しています。しかしながら、コロナとの闘いはまだまだ先が見えず、医療の現場では当分の間は苦労が続きます。また、6月の診療報酬改定に先立ち、4月には医師の働き方改革と第8次医療計画がスタートします。改めて、2040年を見据えた地域医療構想における自病院の立ち位置と果たすべき社会貢献、役割は何かをしっかりと認識することが求められます。

当院ではこの春、山本春風腫瘍内科部長、中川義浩薬剤部長、大門勇作事務部長を含め、30名の新入職者（初期研修医2名を含む医師7名、薬剤師2名、看護師17名、臨床検査技師1名、理学療法士1名、事務職員2名）が新たな戦力として加わりました。特に、総合診療科が昨年度の2名体制から3名体制となっており、大きくパワーアップすることになりました。なお、眼科部長、外科診療部長、副院長、理事と

して18年の長きに亘って朝早くから夜遅くまで頑張ってくれた松本光希診療顧問が定年退職となりましたが、引き続き非常勤医として勤務されます。

専門性を持った医療の提供は勿論ですが、地域に根差した総合診療の提供に努めて参ります。昨年末に「紹介受診重点医療機関」に選定されていますので紹介を受けうる外来であるとともに逆紹介の促進による外来機能の充実、および総合診療科を中心とした全診療科の協力体制の下に当院で対応可能な地域の急性期医療・二次救急医療に積極的に対応します。また、新たに腫瘍内科を開設することによって腫瘍精神科、緩和ケアチーム、がんリハなどと併せて更なるがん診療の充実を図り、「熊本県指定がん診療連携拠点病院」としての役割を果たしていく所存です。

本年度も顔の見える医療連携の促進と質の高い医療を通じて、「地域に愛され、親しまれる、地域に密着した病院」を目指してがんばりますので、相変わらぬご指導・ご鞭撻を賜りますよう、何卒よろしくお願い申し上げます。

### 理念

私たち  
くまもと森都総合病院は  
質の高い医療を通じて  
地域に愛され、親しまれる  
病院を目指します。

### 基本方針

1. 患者さんとの良好なパートナーシップを築き、満足度の高い、心かよう医療の提供に努めます。
2. 地域医療機関との連携を密にし、地域に根ざした医療サービスを推進します。
3. 優れた医療人を育成し、安全で質の高い医療を提供します。



つながる医療。ひろがる未来。

医療法人 創起会

くまもと森都総合病院

〒862-8655 熊本市中央区大江 3-2-65

TEL 096-364-6000 (代表)

FAX 096-362-5204

<https://www.k-shinto.or.jp>

## 新年度のご挨拶

院長 鈴島 仁



新年度を迎えまして、皆様益々ご健勝の事と存じます。いよいよ医療界としては大きな変革となる2024年度がスタートしました。第8次医療計画のスタート、医師の働き方改革の本格的な開始、診療報酬・介護報酬の同時改訂という、いずれも重要な改革が同時に始まるという大きなうねりの中で、全職員一致団結して医療を前に進めていくぞという決意を改めて心に誓う4月となりました。

第8次医療計画の中で医療提供体制の6事業に救急医療と感染症があります。救急医療に関しまして当院はこれまで二次救急病院として対応させていただき、三次救急病院の負担を減らすべく高齢者のプチ救急にも積極的に対応してきました。しかしながら昨年度、熊本大学病院からの整形外科医の派遣が困難になり、一時的に手術が必要な高齢者の骨折などの救急が受け入れできなくなっています。また、昨年働き方改革のため病院として宿日直許可を取得したことから、かかりつけ患者以外の深夜帯の救急車搬入をお断りさせていただいており、地域医療に十分貢献できていないことを心苦しく感じております。今年度は総合診療科をさらに充実させ、在宅療養支援病院として地域の高齢者医療に貢献させていただき、さらに来年度に向けて整形外科救急の再開

に努力して参りますので、何卒

よろしくお願いいたします。感染症に関しましては、当院は2021年1月から2023年5月まで新型コロナウイルス感染症に対して地域包括ケア病棟をコロナ専用病棟に転換して対応して参りました。今年度から始まる第8次医療計画で述べられている新興感染症蔓延時の対応に関しましても、新型コロナウイルス感染症時と同様に専用病棟へ転換して対応していく所存であることを、熊本・上益城地区地域医療構想会議で述べさせていただきました。当院には感染症科はありませんが感染症専門医と新型コロナウイルス感染蔓延期に活躍しましたインфекションコントロールチームがありますので、感染症対策には自信を持っております。

6月からの診療報酬改定は、おそらくこれからの日本の医療の仕組みを大きく変えてくるものになることも予想されます。当院は昨年12月に紹介受診重点医療機関に指定されましたので、外来機能はこれまで以上に皆様方からのご紹介を受けさせていただき、また逆紹介で皆様方に外来治療継続や経過観察の患者さんをお願いしなくてはなりません。今後とも、これまで以上に当院との密な病診連携を何卒よろしくお願いいたします。

## 地域医療連携室長就任のご挨拶

地域医療連携室長／肝臓・消化器内科部長 宮瀬 志保



この度、地域医療連携室長を拝命いたしました宮瀬志保です。吉田健前室長の後任として就任いたしました。日頃より当院と連携を図ってくださっている医療機関の皆さまには大変お世話になり、心より感謝申し上げます。

当院の地域医療連携室の主な役割は、これまで近隣の病院や診療所と連携し、患者様がスムーズに診療していただけるように調節することでした。しかし超高齢化社会となり、人口減少により介護需要が急増し、皆が住み慣れた地域で自分らしい暮らしを人生の最後まで続けることができるように、『医療』のみならず『介護』、『予防』、『住まい』、『生活支援』が地域で一体的に受けることができる地域包括ケアシステムを構築することが求められています。患者さんにシームレスなサポートを提供できるよう努め

ていく所存で

す。前方連携では、スムーズに診療を受けていただけるように、診察や検査予約、転入院調整をおこなっておりますが、迅速に対応できるように、手続きの簡素化も含めて日々改善に取り組んでまいります。後方連携では、転院調整や自宅や施設へ退院された後の地域医療機関等とのさまざまな連携、介護保険等各種申請のお手伝いをおこなってまいります。当院の専門性を生かしながら、顔の見える連携を目指して、情報交換を密にし、地域の特性を十分に配慮したチーム医療を提供していく所存です。連携先の先生方やスタッフの皆様と手を携えて、地域の患者さんの健康をともに支えていく覚悟ですので、今後ともご支援ご鞭撻の程よろしくお願いいたします。

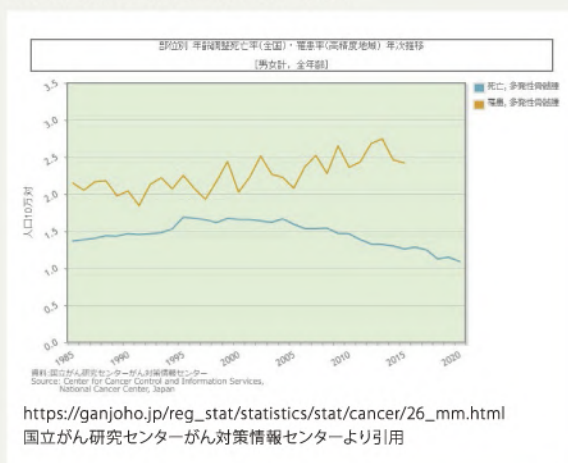
# 多発性骨髄腫

血液内科医長  
藤原 志保



## ■はじめに

多発性骨髄腫はBリンパ球から分化した形質細胞の腫瘍で、その産物である単クローン性免疫グロブリンの産生や貧血を主とする造血障害、易感染性、腎障害、溶骨性変化などの多彩な臨床症状を呈する疾患です。高齢化社会に伴って、罹患率は上がっていますが、一方で死亡率は減少傾向となっています。



## ■骨髄腫の治療の変遷

2000年以降に新規薬剤の登場後、多発性骨髄腫の治療は大きく変化を遂げました。多発性骨髄腫の治療の主軸は、プロテアソーム阻害薬、免疫調整薬 (immunomodulatory drugs ; IMiDs)、抗体薬の3剤のいずれかを組み合わせる治療となっています。

プロテアソーム阻害薬の代表的薬剤は、ボルテゾミブ (皮下投与)、カルフィルゾミブ (点滴静注)、イキサゾミブ (内服薬)、免疫調整薬はサリドマイド、レナリドミド、ポマリドミド (すべて内服薬) が挙げられます。また抗体薬は、骨髄腫細胞表面抗原のCD38に対するモノクローナル抗体であるダラツツマブ (点滴静注、皮下投与)、イサツキシマブ (点滴静注)、SLAMF7に対するモノクローナル抗体であるエロツズマブなどが承認されています。現在これら薬剤の効果により多発性骨髄腫の治療成績は向上し、2000年以前は約3年であった中央生存期間は、現在約8年と延長しています。

## ■骨髄腫に対する免疫療法

上記治療薬の登場にも関わらず、多発性骨髄腫が治癒する治療法はなく、再発難治となる症例も少なくありません。そこで2022年以降承認されたのがキメラ抗原受容体発現T細胞療法 (いわゆるCAR-T細胞療法) です。現在2種類の薬剤が承認されており、Ide-cel (アベクマ®)

の全奏効率は71%、Cilta-cel (カーピクティ®) の全奏効率は97.9%と高い有効性が示されています。しかしながら、治療が行える認定施設が限られており症例が限定されているのが現状です。

そのほかの免疫療法に関して、今後承認予定のものが二重特異抗体といわれるものです。

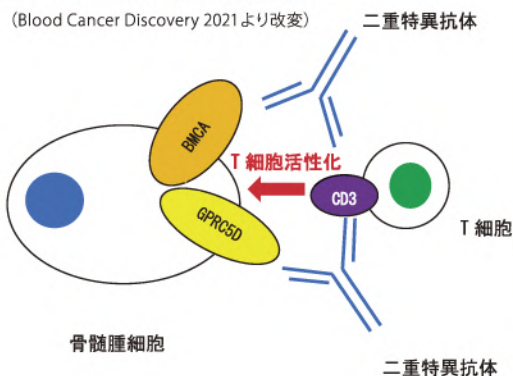
多発性骨髄腫に対する二重特異抗体は、B細胞成熟抗原 (B cell mature antigen) およびCD3に対する抗体製剤、GPCR5D (G protein-coupled receptor, class C group 5 member D) およびCD3に対する抗体製剤が海外では承認されています。上記にお示した3種類の薬剤治療後の患者様においても、全奏効率は約60%と高く今後期待される薬剤です。しかし一方で、免疫療法に特徴的なサイトカイン放出症候群や、免疫細胞関連神経毒性症候群などの有害事象が少なからず認められますが、CAR-T細胞療法に比し有害事象に程度は軽く、製造作成の時間を要さないため、迅速に投与でき、また幅広い年齢層にも適応があると考えられる治療と考えられています。

## ■最後に

多発性骨髄腫の発症年齢は60歳以上で増加し、圧迫骨折や貧血症状などで来院されることが多い疾患です。80歳以上のご高齢の方で、圧迫骨折発症のため寝たきりの状態となっても、化学療法の進歩により元気に歩いて外来に来られるまで回復される方が増えてきました。化学療法を適切に選択しよりよい生活が送れるように、患者様及びそのご家族様とともに治療方針を考え取り組んでおります。

多発性骨髄腫が疑われる患者様がおられましたらいつでも当科までご相談くださいようお願い申し上げます。

図：二重特異抗体作用機序





左から 中野正啓部長、大佐古智文副院長、藤末真実子医長

## 診療科紹介 乳腺センター（乳腺外科）

乳腺センターは現在、3人の乳腺専門医で乳腺疾患に対応しております。乳房の腫瘍や他の症状でご心配の患者さんがおられましたら、ご紹介をお願いいたします。当科へは、熊本市を中心に熊本県全域と周囲の県からも多数の患者さんに受診していただいております。診断から治療まで丁寧な説明と診療を心がけております。

### 診療内容について：

乳がんが診療の中心ですが、良性腫瘍や炎症性疾患も対応しています。乳がん診療の発展はめざましいものがあり、新規薬剤やそれに伴う診断法が次々に登場しています。当科ではその全てに対応できるように多職種でチームとして日々研鑽を積んでおります。乳がん治療の基本は手術と薬物療法・放射線治療を組み合わせることで集学的に根治を目指すところにあります。現在、乳がんはその生物学的特性からいくつかのサブタイプに分類されており、治療方法も治療成績もそれぞれ異なるため、患者さんの乳がんの性質に合わせた適切な治療選択が重要です。従来ホルモン療法や化学療法に加えて分子標的薬・抗体薬物複合体・免疫チェックポイント阻害薬などの様々な新薬が開発されています。

### 治験について：

新薬の開発に必要な治験（国際共同）に積極的に参加しております。それにより目の前の患者さんに新薬を提供できる機会が得られると同時に新規薬剤の保険適用を推進できると考えております。

### 治療について：

手術は通常の乳房温存術や切除術に加え、エキスパン

ダーを挿入する乳房同時再建術や遺伝性乳癌卵巣癌症候群（HBOC）に対するリスク低減手術（予防的乳房切除）も行っています。当院はHBOC診療に関して施設認定を受けておりますので、乳がんや卵巣がんの家族歴がある患者さんがおられましたらご相談ください。薬物治療では、新しい抗体薬物複合体や免疫チェックポイント阻害薬など、副作用の関係で施設によっては使用が難しいものも他科・多職種と連携して積極的に使用しており、安心安全を最優先にしつつ、さらなる治療成績の向上に貢献しております。

### 外来について：

乳房関連の検査をセンター内で施行可能な体制をとっております。マンモグラフィ、乳房超音波検査、病理学的検査（細胞診、針生検）を1日で行うことが可能です。外来での化学療法も安心して受けて頂けるように化学療法センターで対応しております。また、熊本市のマンモグラフィ検診を平日のみ受託しています。

### 入院について：

主に手術の患者さんが対象ですが、希望される患者さんには化学療法や放射線治療目的も積極的に受け入れていますので、より安心して治療を受けて頂けます。また、再発乳がんや辛い症状の緩和が必要な方にも対応しており、より専門的な緩和ケア病棟への転科転棟も可能な体制をとっております。

（乳腺外科部長 中野 正啓）

## 『Shinto公開医学講座』のご案内

テーマ クローン病—この20年の進歩を20分で理解する—

日時 2024年4月18日（木）17:30～

開催方法 ハイブリッド開催（Web参加も可能です）

場所 くまもと森都総合病院 5F 大会議室

参加方法 下記 URL もしくは QR コードよりお申し込みください。お申し込み確認後、招待メールをお送りさせていただきます。  
（<https://bit.ly/3wJptXJ>）

講師 外科 診療顧問 横山 幸生





1

## 外来予約依頼書を当院へFAXをお願いします。

外来予約依頼書を当院地域医療連携室へFAX (096-364-8585) ください。所定書式を準備しております。当院ホームページからダウンロードも可能です。

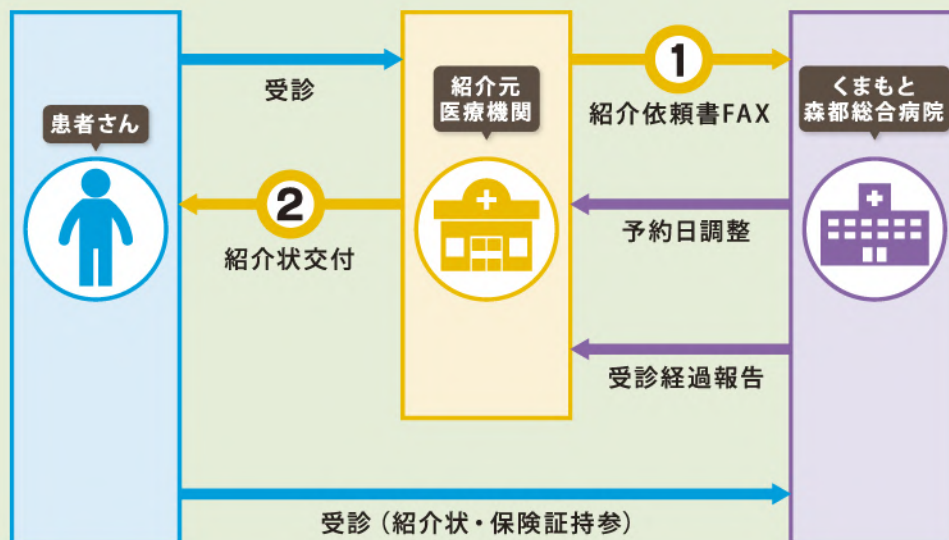
<https://www.k-shinto.or.jp/> トップページ > 医療関係者の方へ > 患者紹介について

2

## 患者さんへ紹介状をお渡しいたしますようお願いいたします。

受診予定日が決まりましたら貴院へ予約票をFAXさせていただきます。

患者さんに紹介状(診療情報提供書)をお渡しいたし、受診当日にご持参いただけますようご案内をお願いいたします。



### 紹介予約 (FAX予約) 受付時間

平日9時00分から16時00分まで

### FAX送付先 地域医療連携室

FAX 096-364-8585

※受付時間外にいただきましたFAX紹介につきましては、翌診療日に予約調整とさせていただきます。

### 電話紹介 について

緊急性が高く、当日受診が必要な患者さんのご紹介はお電話にてお願いいたします。

ご不明な点につきましては下記までお電話くださいますようお願いいたします。

地域医療連携室 Tel.096-364-9790 Fax.096-364-8585

受付時間 午前 8:00 ~ 11:00 (再来機の受付は 7:30 より開始) ※急患はこの限りではございません

2024年4月1日現在

		午前/午後	月曜日	火曜日	水曜日	木曜日	金曜日
<b>内科診療：午前〔初診及び再診〕・午後〔再診のみ〕</b>							
総合診療科	午前		濱 諒輔 初診	吉田 健	宮村 智裕	吉田 健	宮村 智裕
			宮村 智裕 再診	濱 諒輔	吉田 健 再診		濱 諒輔
	午後				宮村 智裕 再診	診 訪 問	
肝臓・消化器内科	午前		藤山 重俊 袖留木 秀人	宮瀬 志保 泉 見奈	藤山 重俊 東野 奈津己	宮瀬 志保 東野 奈津己	袖留木 秀人 泉 見奈
	内視鏡担当	午前	宮瀬 志保 東野 奈津己 泉 見奈	東野 奈津己 袖留木 秀人	宮瀬 志保 袖留木 秀人	袖留木 秀人 泉 見奈	袖留木 秀人 泉 見奈
血液内科		午前	藤原 志保 大徳 勇人	藤原 志保 鈴島 仁 宮川 寿一	下村 泰三 渡邊 祐子	藤原 志保 渡邊 祐子	藤原 志保 渡邊 祐子
	午後		下村 泰三	渡邊 祐子		宮川 寿一 鈴島 仁	大徳 勇人
腫瘍内科	午前		山本 春風				山本 春風
	午後			山本 春風			
循環器内科	午前		中村 尚太		中村 尚太	中村 尚太	中村 尚太
	午後		中村 尚太		中村 尚太		
腎臓内科	午前					水足 謙介	水足 謙介
	午後		水足 謙介				
リウマチ 膠原病内科	午前		高岡 宏和 初診	高岡 宏和 再診		高岡 宏和 再診	
	午後				高岡 宏和 再診		
呼吸器内科	午前				古川 嗣大 (熊大) 再診		
代謝・内分泌内科	午後				有馬 由佳 (熊大) 再診		
外科	午前	横山 幸生 田嶋 ルミ子		手術	横山 幸生	横山 幸生	田嶋 ルミ子
	午後	手術 検査	手術	手術 検査	手術 検査	手術 検査	検査
乳腺センター (乳腺外科)	午前	初診担当医 再診		手術	初診担当医 再診	手術	初診担当医 再診
	午後 午前 8:30 ~ 12:00 午後 14:00 ~ 16:00 (完全予約制)	大佐古 智文	大佐古 智文	大佐古 智文	大佐古 智文	大佐古 智文	大佐古 智文
		中野 正啓	中野 正啓	中野 正啓	中野 正啓	中野 正啓	中野 正啓
産婦人科	午前	永井 隆司 岡島 翠	永井 隆司 岡島 翠	永井 隆司 岡島 翠	永井 隆司 岡島 翠	永井 隆司 岡島 翠	永井 隆司 岡島 翠
	午後	片淵 秀隆 (女性相談外来) 手術	片淵 秀隆 (女性相談外来) 手術	手術	片淵 秀隆 (女性相談外来) 手術	永井 隆司 予約 岡島 翠 検査	
整形外科 (完全予約制)	午前		担当医 (熊大) 再診	高田 興志 再診			
	午後					担当医 再診	
リハビリテーション科	午前				細川 浩 再診		
眼科 (完全予約制)	午前	草野 雄貴	草野 雄貴	草野 雄貴	藤崎 雅彦 9:30 診療開始	手術	草野 雄貴
		藤崎 雅彦	藤崎 雅彦	藤崎 雅彦 9:30 診療開始			藤崎 雅彦 9:30 診療開始
	午後	松本 光希	松本 光希 9:30 診療開始	松本 光希		手術	松本 光希
皮膚科 (完全予約制)	午前	田中 憲一郎	松尾 敦子	松尾 敦子	田中 憲一郎	訪問診療	松尾 敦子
	午後	松崎 恵里奈	松崎 恵里奈	田中 憲一郎			田中 憲一郎
緩和ケア科	午前	橋口 清明	橋口 清明	橋口 清明	橋口 清明	橋口 清明	橋口 清明
腫瘍精神科	午前	木下 裕子	木下 裕子	木下 裕子	木下 裕子	木下 裕子	木下 裕子
麻酔科 ペインクリニック (完全予約制)	午前	洲崎 祥子	田口 裕之 (術前診療)	田口 裕之 洲崎 祥子 (術前診療)			田口 裕之 (術前診療)
禁煙外来 (予約制)	午前						田口 裕之
放射線科 (幸秀明・西東葉子)	午前		担当医	担当医	担当医	担当医	担当医
	午後		担当医	担当医	担当医	担当医	担当医